

第24回 改善発表会

日 時: 平成18年6月17日(土) 14:00~

会 場: 森松株式会社 本社ビル5F

**"KAIZEN"で
何かが
変わる…**

目指すのは、業務改善による自分自身の成長です。

サークル名	テーマ名	発表者
ライトSTAFF	どこでもホワイトボード	伊東 郁二
ウルトラセブン	冬の静電気	安井 浩二
マルサン工房	○○○工房	森 社長

『座禅の話』
NEC杭州(中国浙江省)へ訪問し、総経理の凌さんと面会。
日本への留学経験もある凌さんは流暢な日本語を話し、敬語も完璧で中国人と話しているところをまつたく感じさせません。

家族を上海に残しての単身赴任の凌さん、住まいを車で15分ほどお茶農家の一階を間借りしています。周辺はお茶が名産品であり、昼食をその下宿先でいただき話をしました。——の最先端をいく会社にしては、随分と不便な所に住んでいると思いつかですが、実際に見てみるとなるほど、周りは鳥の声や風の音が聞こえ、そして都会にはない澄んだ空気が心身をリラックスさせてくれます。

携帯電話は通じるので頻繁に連絡をやりとりつつも、周りの景色を見ながらいたりと仕事をしてみると見えます。

この数年は、朝晩数十分間座禅をしていることと、これまで精神修養に非常に役立つことです。聞くほどに修行僧のような生活ですが、日々の生活中で「何もしない」という時間はほとんど取る事が出来ないでしょう。常に何かしらの仕事、用事や、娯楽が付きまといます。いちどそういった身の回りのことを、10分間だけでも自分の頭を取り払いリラックスすることは、自分が周りに流れないと必要ではないかと感じました。

『香港の話』
休暇を利用して香港へ行ってまいりました。上海留学時代の友人と会ったり、海鮮から飲茶、北京ダックをいただいたりと日本ではなかなか食べられない食事をお手軽に楽しみ、満喫させていただきました。昔からなにかと雑多な印象のある香港ですが、数字で見る実態は——MD国際競争力ランクインで、はアメリカに次いで2位、東京都の半分の面積に7,000万という人口で一人あたりGDPは2万3,000ドル(日本は3万6,000ドル)と小さな土地と人口での経済効率の良さは日本の比ではありません。そしてこれだけの規模ですと様々な制度も浸透させるのが速いでしょう。ふと技術やデザイン、そして社会制度で日本の前を行く北欧諸国と香港が重なって見えます。小回りのきくところの強みは国家も会社もそれにあると感じました。

naoki@morimatsu.net

3日(土)	第一土曜日休み
4日(日)	中文役員会
5日(月)	中京銀行勉強会
6日(火)	第二土曜日休み
7日(水)	大橋康成さん誕生日
8日(木)	月例大掃除日
9日(金)	11時30分~13時
10日(土)	17時30分~19時
11日(日)	改善発表会
12日(月)	生産会議
13日(火)	COS(顧客満足)向上会議
14日(水)	13時10分~14時10分
15日(木)	18時~
16日(金)	14時~
17日(土)	18時~
18日(日)	14時~
19日(月)	13時30分~8時20分
20日(火)	COO(顧客満足)向上会議
21日(水)	13時10分~14時10分
22日(木)	18時~
23日(金)	大見延子さん誕生日
24日(土)	編集会議
25日(日)	第四土曜日休み
26日(月)	経営会議

2006年
6月
の予定

読書感想文

「千円札は拾うな」

安田佳生(株)ワイキューブ代表著

村田恒夫(ウルトラセブン・サークル)

この本を読んで、常識とは「何だろう?」ということを考えさせられました。「無借金経営こそが健全な経営である」という常識。借金をせず、自己資金を回すだけで利益をだしていくのが、最も健全な経営だと信じている経営者は多い。お金があるから借りない。お金が足りないから借りる。これは一見すると当たり前のことがようだが、会社にとって借金とは、お金があるときにこそするものなのだ。なぜお金があるのに借金をしなければいけないのかと言うと、足りなくなつてからでは、誰も貸してくれないからだ。なぜ貸してくれないのかと言うと、足りないときにした借金は、より発展するための投資に使われるのではなく、事業の穴埋めに使われるからだ。利益を生み出す可能性のないお金を貸す人はいない。「借金も財産のうち」という言葉があるが、銀行にお金を貸してもらえるということは、とても大きな資本なのだ。

業績をさらに伸ばすために打つ手立てはいくらでもある。投資先として最も確実なのは、「人材」と「情報」、そして「ブランド」である。なぜこの三つに投資することが最も有効なのかと言うと、何十倍、何百倍という投資効率を生み出す可能性があるのは、人材と情報、そしてブランドだけだからだ。

一手先の戦略より三手先まで考える、いざというときの変化への対応等、常識を捨てる勇気と決断。

常識が非常識? 現在の著しい経済環境の変化に、企業の体質の改善が伴っていない。リスクを負わない(保守的)経営姿勢に対し、現状打破(破壊)と積極的投资をしなければ、勝ち組企業になることは出来ないと警告している本であると感じました。

運転が出来れば、行きたい所へいつでも行けるのは便利ですが、今回久しぶりに運転をしてみて、やっぱり私は向いていないのかなと思ってしまいました。でも、時間がある時に少しづつ練習をして、いつかは一人で運転が出来る様になれたらなと思いました。

運転が出来れば、行きたい所へいつでも行けるのは便利ですが、今回久しぶりに運転をしてみて、やっぱり私は向いていないのかなと思ってしまいました。でも、時間がある時に少しづつ練習をして、いつかは一人で運転が出来る様になれたらなと思いました。

小坂美香(ライトSTAFF・サークル)



【運転】

2006年下半期カレンダー

<7月～12月>

印が休日。

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
·	·	·	·	·	·	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
·	·	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
·	·	·	·	·	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
·	·	·	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
·	·	·	·	·	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

『ハイブリッド』

安井 浩二(ウルトラセブン・サークル)

ハイブリッドと聞くと何を想像しますか？大半は、トヨタのプリウスが代表されるのではないかでしょうか。

「ハイブリッド＝異種交雑」という意味ですが、先日、中日新聞にて紹介されていましたが、以外にも、ハイブリッド商品が名古屋発であることが多いことを知りました。

ブリウスは、電気モーターとガソリンエンジンという別種の駆動源の組み合わせたエコ・カー。タイプレイターと二弦琴を組み合せた和洋折衷の楽器である「大正琴」も名古屋の発明家、森田吾郎という人が考案。今では、当たり前に使っているシャチハタのハンコとスタンプ台を合体させた浸透印。地元で有名なラーメンチェーン店であるスガキヤの「ラーメンフォーク」は、割り箸とレバーハンドルの役割を併せ持つもの。莫子パンでは「小倉&ネオ」あんことマーガリンの組み合せ。(名物である、味噌カツやあんかけパスタも組み合せに含まれるのかな?)

こうした異種の組み合せは、名古屋人の堅実な気質から、生まれた商品で、無から有を生もうとすればリスクが高くなる。今までの延長線上で(既存のモノを)混ぜたり、組み合せることが「新たな価値を生む」という事だそうです。

私達の業界でも、単なる汎用品だけでは、輸入品に押され、モノの価値観が変わり、厳しい状況にあります。そう簡単に新商品は開発できるものではありませんが、汎用・機能性や身近な異素材などの「組み合せ」がヒントになり、まだ新しい商品や市場が考えられると思思います。そのためには、異業種への見聞も、もっと広げて新たな価値を生み出したいものです。



日本人にとって愛国心とは、皆で仲良くやつてゆく社会を大事にすることです。

「共同体なくして個人なし」が日本で、「個人なくして共同体なし」がアメリカです。ですので日本の共同体の強さは「和の精神」の強さに比例し、アメリカの社会(国家)の強さは個人の「競争」の強さに比例する。強い社会(国家)を願い、作ることが仮に愛国心だとするなら、日本の愛国心は日本人同士の团结を強めることであり、アメリカのそれは競争相手と戦い勝つことなのです。だからアメリカの愛国心のためには敵国が必要で、日本の愛国心のためには敵国は不要なのです。

中国や韓国にどうでも、愛国心は国家存亡に関わる最も重要な精神です。中国は60弱の異民族集團ですから、強力かつわかりやすい共通精神を必要としますが、異なる価値観を持つ13億の人達に共通する精神を創造することは不可能です。一番安い効果のあるのは、強力な「敵」を作ることです。ですから中国は日本を敵にするため、愛国館を全国に作り反日感情が南北に分断され、敵対関係になっています。こうした被支配の歴史と同民族対立の中で、愛国心は国家統一に欠かせない。最も安易な道は被支配の記憶が残っている日本を敵にすることです。ですから韓国は中国に負けず反日感情を煽り続けているのです。

韓国の歴史は被支配の歴史だったばかりか、不幸にして民族が南北に分断されています。こうした被支配の歴史と同民族対立の中で、愛国心は国家統一に欠かせない。最も安易な道は被支配の記憶が残っている日本を敵にすることです。韓国、このギャップから生まれる問題解決にどう対処したらいいのでしょうか……。

森 ちか



西垣 浩司(マルサン工房・サークル)

先日(GW中)に家族＆兄弟にて蒲郡へ潮干狩りに行きました。毎年、裏道等を利用して目的地まで行っていたのですが、例年と何かが違う？前方後方に車また車。こんな渋滞にはまつたのは久々で、何かが変わった事に気づきました。今までこんな道は、ほとんど知られていないはずなのにカーナビの渋滞情報で抜け道の情報を入るからでしょうか、三河ナンバー以外のナンバーの多い車。その為、迂回路が消滅してしまったのでしょうか。

皆さんはこのような渋滞中に、イライラ防止として何を行いますか？我が家はライラ防除策は、(1)カーナビにてDVD観賞…子供・妻中心。(2)カーナビにてTV…連続ものは欠かせないと。(3)DS(ゲーム機)にて…通信行い、3名で会話を弾む。(4)対向車のナンバー…フレー子供どうして数字の言い合いトの足し算・引き算…を聞いてみると、社内の雰囲気も変ります。

(5)読書…GW中の課題図書を読む。

皆様は渋滞に遭遇した際、何をしますか？また、何を考え、運転を行っていますか？

何にしろ、車内の雰囲気と安全運転に心掛けましょう。

健康と安全は自分持ち！

家族の安全 ハンドル扱う 貴方に決まる

伊藤 雅典(マルサン工房・サークル)



子供の借りてきたDVDの返却を家内に頼まれる。「いい映画だよ。良かったよ。良かつたら返す前に一度観たら。」と言われ、あまり邦画は観ない私ですが、暇だったのでとりあえず観ることにしました。観出したら何のことはない恥ずかしながら泣いてしまった。

話の内容は、飛行機で故郷に向かった主人公(伊藤英明)が20年前に住んでいた故郷へタイムスリップして幼いころの自分が「ヒロ」と同居してしまうと言う話です。そこには若くして亡くなってしまった近所の初恋のお姉さん(ミムラ)がまだ生きているのです。子供だった故にお姉さんは残り少ない余命を知っています。が心残りだったのです。そこで主人公は何とかしてお姉さんを助けようとするのですが、何と手術をして後遺症が残りながらも助かってしまうのです。これっておかしいですね。未来を変えてしまうんですから。ま、映画だから…。

主人公の他にも3人同じ飛行機に乗りタイムスリップをしてしまうのですが、それ20年前に言いそびれたり、やりそびれたりして心残りだったことをして実現していくのです。意外な結末ですが、それは内緒。みなさんも、もし自分の過去にタイムスリップできたら誰に会いに行きますか？誰に何を言いたいでですか？誰と何をしたいですか？オレは何も言えなかつた初恋の彼女に告白かな…ちょっと軽かっただけなかもしれません。とにかく感動の本でした。お勧めです。

この映画「黄金がえり」と同スタッフで良く似た感じになり、新鮮味がないんですね。でも観た事のない私は感動をもう一度で今度レンタルしてきます。

『この胸 いつぱいの愛を』

